

読書感想文が  
楽しくなる！

# 読み書き編集 ワークのながれ

朝読の  
成果を活用

子ども編集学校  
KODOMO EDIT SCHOOL

## 読み書き編集ワーク

読み書き編集

読 み ≡ 書 き

◇スタート！

●好きな「本」をもってくる

◎ステップ1

### 連想図をつくる

◎ステップ2 連想図から文章をつくる  
相手を想像しながら「キーワード」を選び、  
並び順を工夫して、文章にする。

- ◆読み書き編集力ポイント
- ② 「カット編集術」

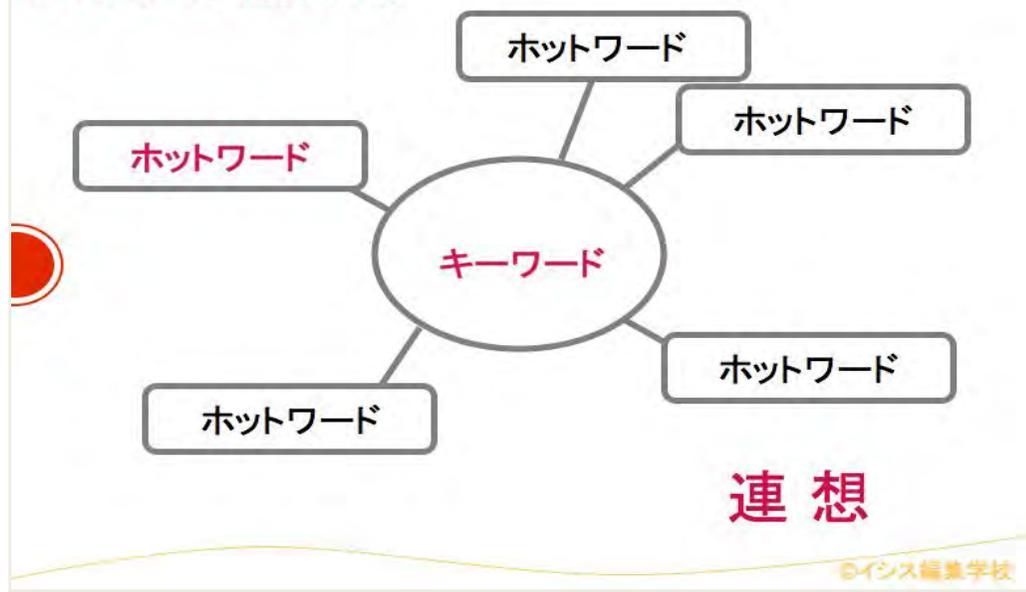
◎ステップ3 メッセージを本の帯にする  
伝えたいことを「キーワード」の組合せで要約する。

- ◆読み書き編集力ポイント
- ③ 「連想から要約」

◇フィニッシュ

- ・好きな帯に「投票」。おたがいに評価してみよう。
- ・他の人の本も参考に次に読みたい本を見つけよう。
- ・本の連想図をもとに、お家で読書感想文にしよう。

## よみかき編集術



## 読み書き編集ワーク

◇スタート！

読み書き編集

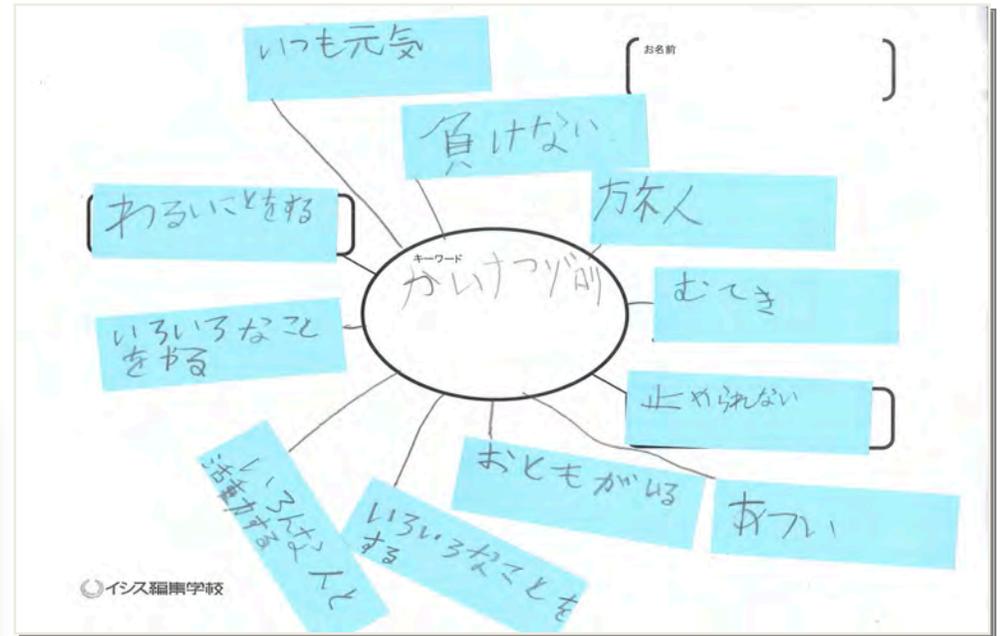
読み ≡ 書き

◎ステップ1

## 連想図をつくる



- ・他の人の本も参考に次に読みたい本を見つけよう。
- ・本の連想図をもとに、お家で読書感想文にしよう。



- キーワードは、本の主人公など。
- ホットワードは、  
主人公の特徴／好きなところ／  
感動した場面など。

## 読み書き編集ワーク

◇スタート！

読み書き編集

読 み ≡ 書 き

◎ステップ1

連想図をつくる

◎ステップ2

並びかえる

◎ステップ3 メッセージを本の帯にする  
伝えたいことを「ホットワード」の組合せで  
要約する。

- ◆読み書き編集力ポイント
- ③ 「連想から要約」

◇フィニッシュ

- ・好きな帯に「投票」。おたがいに評価してみよう。
- ・他の人の本も参考に次に読みたい本を見つけよう。
- ・本の連想図をもとに、お家で読書感想文にしよう。

## よみかき編集術

キーワード

ホットワード

ホットワード

ホットワード

要約

©イニス編集学校

- **ホットワードを選んで、  
伝える順番を考える。**

## 読み書き編集ワーク

読み書き編集

読み ≡ 書き

◇スタート！

◎ステップ1

### 連想図をつくる

◎ステップ2

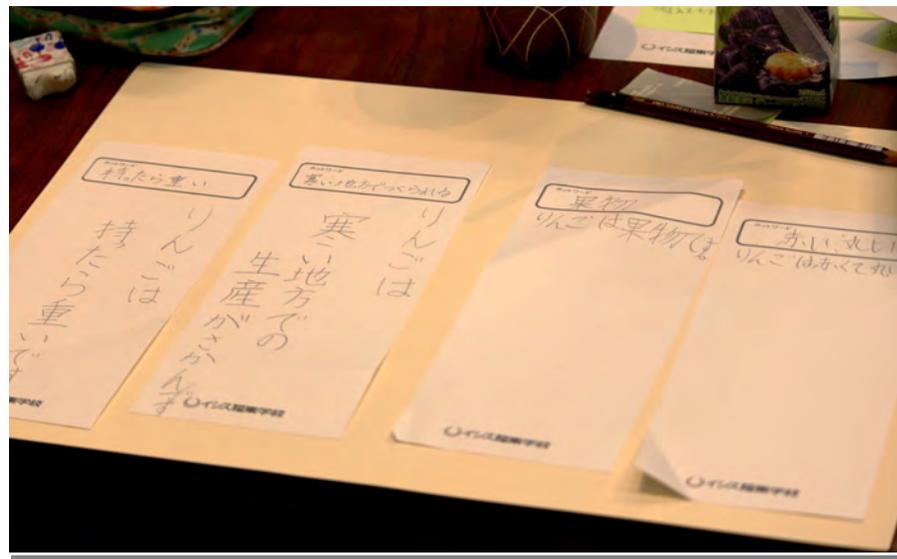
### 並びかえる

◎ステップ3 メッセージを本の帯  
伝えたいことを「ホットワード」

◆読み書き編集力ポイント  
③ 「連想から要約」

◇フィニッシュ

- ・好きな帯に「投票」。おたがいに
- ・他の人の本も参考に次に読みたい
- ・本の連想図をもとに、お家で読書



● カット編集術で  
並びかえのコツをつむ。

## 読み書き編集ワーク

読み書き編集

読 み ≡ 書 き

◇スタート！

◎ステップ1

**連想図をつくる**

◎ステップ2

**並びかえる**

◎ステップ3

**本の紹介文をつくる**

◇フィニッシュ！

本のタイトル

子ども編集学校

キーワード

ホットワード

学年

名前

● POPカードや本の帯に  
伝えたいことをまとめる。

# 「読み書き編集ワーク」 《体験》プログラムの流れ

## 読み書き編集ワーク

読み書き編集

読 み ≡ 書 き

◇スタート!

◎ステップ1

連想図をつくる

◎ステップ2

並びかえる

◎ステップ3

本の紹介文をつくる

◇フィニッシュ!



●できたらお互いに、投票。  
次に読みたい本もみつけよう。

# 「読み書き編集ワーク」 《体験》プログラムの流れ

## 読み書き編集ワーク

### 読み書き編集

読み ≡ 書き

#### ◇スタート！

- ・読むとき書くときに共通するコツがある。
- ・まずは、連想を広げよう。

#### ◎ステップ1 連想図をつくる

読んだら「キーワード」から連想をひろげ  
「ホットワード」をつなげて連想図にする。

- ◆読み書き編集力ポイント
- ① 「キーワード・ホットワード」

#### ◎ステップ2 連想図から文章をつくる

相手を想像しながら「ホットワード」を選び、  
並び順を工夫して、文章にする。

- ◆読み書き編集力ポイント
- ② 「カット編集術」

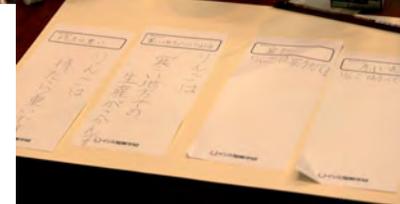
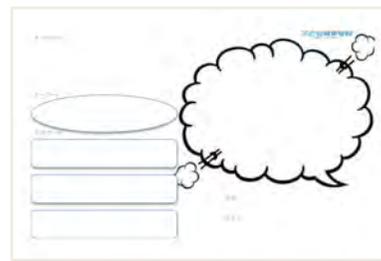
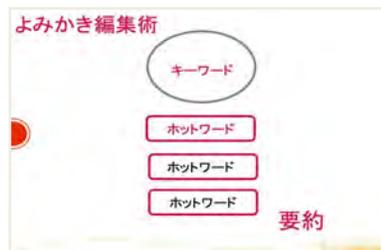
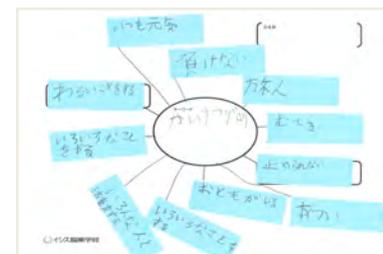
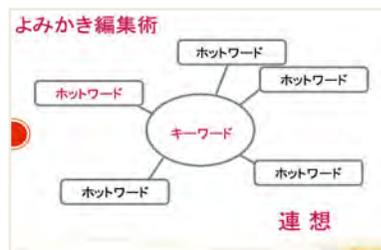
#### ◎ステップ3 メッセージを本の帯にする

伝えたいことを「ホットワード」の組合せで要約する。

- ◆読み書き編集力ポイント
- ③ 「連想から要約」

#### ◇フィニッシュ

- ・好きな帯に「投票」。おたがいに評価してみよう。
- ・他の人の本も参考に次に読みたい本を見つけよう。
- ・本の連想図をもとに、お家で読書感想文にしよう。



全員が時間内にワークできるようにするために、  
以下のような構成の特徴があります。

- ・読了した本をもってくる
- ・作文の手順は例題で学ぶ
- ・ワークでは本の帯にまとめる

## 読み書き編集

読 み ≡ 書 き

文章を読み解く。構成して文章に書く。どちらもまとまりをもった情報の編集作業です。

このとき頭の中でジグザグに進む働きを取り出し、読み書きを同じ方法で見通せるようにしました。具体的で新しい読み書きへのアプローチです。

## 読む力

- ◎情報の構造がつかめる。
- ◎文章題に強くなる。
- ◎自分の見方を加えやすくなる。

## 書く力

- ◎文章を組み立てられる。
- ◎言いたいことが整理できる。
- ◎いきいきした言葉で表現できる。

## 読み書き編集力

## 考える力

- ◎すべての教科の基礎となる情報活用能力が高められる。
- ◎情報を構造的に把握し、論点を整理できる。
- ◎さまざまな角度から物事を見て、考えられるようになる。

## 〈ご意見・感想〉

### ○保護者

- ・読書感想文を書かせるというもあらずじを書いてしまいがちなので、発想を広げ、連想していくことが大事なのだと勉強になりました。
- ・課題の中で苦手意識が強い感想文なので、家庭でアドバイスすることもあるが、反抗する年頃でもあるので、こういったイベントで専門の方から指導していただけたのはありがたいです。家庭でも、今日の方法をふまえて、親の方からもアドバイスしやすいかと思います。
- ・読書感想文、今年は書けそうな気がします！来年も参加したいくらいです。
- ・読書感想文の意味、意義、書き方、捉え方がわかりました。
- ・夏休みの宿題にタイムリーな講義でありがたかったです。
- ・飽きることなく、2時間学ぶことができました。子どもも意欲的に取り組んでいました。ここでのやる気をそのまま家に持って帰れたらと思います。
- ・本のエッセンスを抜き出してプレゼンテーションするプロセスを、とても分かりやすく楽しみながら学ぶことができました。
- ・キーワードをつなぐというのが、子どもにとってよい体験だった。国語が好きになるワークをもっとやってほしい。

### ○子ども

- ・帯を書くのがとてもたのしかったです。宿題にも役立てていきたいです。
- ・はじめて見た本や友だちが選んだ本を見て、こんな本もあるんだと知ることが出来てよかったし、ゲームのように楽しく学習できてよかった。
- ・絵本のような短い物語をつくってみたい。ゲームのストーリーや学級新聞の下書きを書きたい。

実施アンケートより（八千代中央図書館様 / 生活工房・世田谷区教育委員会様）

毎年読書感想文はつまづいていたので、このイベントに参加して、いい機会になりました。

自分も子どもがこんなことを考えたりするんだと、発見したりできました。今回の経験をいかして、感想文だけでなく、いろいろなことに生かして行ってほしいと思います。ありがとうございました。

文章を書くことが苦手な娘ですが、おもしろく、楽しんで書いていました。

継続してやっていただけると力がつくと思いました。

## 読み書き編集

読 み ≡ 書 き

### 読み書き編集力が変わる2つのポイント

#### ◆キーワード・ホットワード（情報の構造をつかむ）

- 「キーワード」とは、文章の主題にあたります。  
「何について書いた文章なのか」ということです。  
読むときは、まずキーワードをつかむことが大切です。

- 「ホットワード」とは、主題と鍵穴のように関連する言葉です。  
なにかを説明するときは、持ち出す「ホットワード」と順番を決めると、話の整理が簡単にできます。

ホットワードの組合せは、以下のようにさまざまですが、ここではキーワードを起点に、**情報を構造的に見る**ことを身につけます。

- ※ 1) 相同表現、類義表現 2) 対義表現、対比の構造  
3) 因果関係 4) 列挙・網羅・並列の構造 など

#### ◆連想と要約（思考を組み立てる）

思考には「連想」「要約」の2つの情報編集プロセスがあります。  
連想が起こるのが読書の面白みであり、要約しないと読書できません。  
この2つをうまく組み合わせることが、**思考の組立ての第一歩**です。

- 「連想」は、振返って活用することがポイントです。
- 「要約」は、指針の持ち方がポイントです。

※モダリティやモデル

さあ、これから**情報**についての話を、いろんな角度からしてみたいと思います。とてもたくさん話をするのでたのしみに読んでください。

では、さっそくはじめましょう。まずは「情報」ってどういうものなのか、わかりますか？ 目に見えるものですか？ ニュースのようなものですか？ おしやべりや食べるものは情報ではないですか？ 買いたいものをするとき、情報は関係していますか？ 音楽は情報ではないですか？ 手がかりとして、最初に辞書を引いてみましょう。辞書はことばの意味を調べるときはとてもべんりですからね。

情報 (information) ……ある(こと)がらについてのしらせ。判断を下したり行動を起こしたりするために必要な知識。(岩波書店『広辞苑』より)

ホットワード

いま、情報ということばの意味を辞書から引いてみました。 「しらせ」「判断」「知識」とだとありました。「しらせ」というのは何でしょう？漢字で書くと「知らせ」ですね。たとえばテレビやラジオで毎日流れている天気予報は、天気についての「しらせ」の情報です。お知らせです。ニュースもいろいろな出来事や事件についての「しらせ」ですね。明治時代にはこれを「報知」といいました。だから、新聞に書かれていることはみんな情報です。

キーワード